

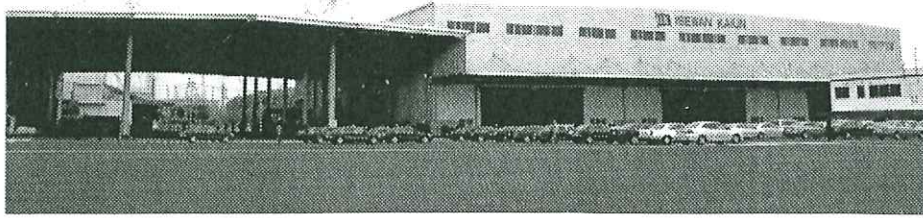
輸送経済

5/13

THE YUSO-KEIZAI

第2797号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

平成20年
(2008)
(火曜日)
週刊



弥富に最大規模拠点

伊勢湾
海運

大型重量貨物に対応

伊勢湾海運(本社・名古屋
古屋市、伊藤正社長)は
七日、「弥富物流センター」
を稼働した。工作機械
などの重量物や大型貨

物への対応能力を高める
ための拠点新設。

敷地面積四万六千平方
メートル。平屋建ての倉
庫棟と保管上屋棟の総延
べ面積は一万二千二百平
方メートル。倉庫棟には、
重重量物を効率的に扱う弥
富物流センター

方メートル。倉庫棟の東
西には、合計九千百平方
メートルの雨天荷役場を
設けた。総投資額は五十
億円。

所在地は愛知県弥富市
楠二丁目六五ノ八。伊勢
湾岸自動車道の湾岸弥富
ICから二キロの交通要
所に立地。倉庫棟には、
業界最大級の六十トン天
井クレーン一基をはじめ
、計六基の天井クレー
ンを設置。重量物の倉庫

内作業を効率化した。天
井の高さは十二メートル
に設定。大型貨物へ対応
能力を高めた。

同社としては初めて本
格的な雨天荷役場を設
け、天井を十二メートル
の高さに設定。リーチス
タッカー(コンテナをつ
かみ上げ、搬送・段積み
できる大型荷役機器)で
の作業を可能にしてい
る。

屋根の一部には、NE
DO(技術開発機構)か
ら補助金を受け、太陽光
発電パネルを設置した。